

アルファガーデン 2月の見どころ

※その年の気候により開花時期はずれることがあります

【花木類】



①ワビスケ(コチョウワビスケ)

ワビスケはツバキの一系統であり、ヤブツバキとチャの交配種という説もあるが定かではない。大きな特徴は、雄蕊の機能が退化し、結実せず、花は半開。一般にワビスケというこのコチョウワビスケをさすが、このほか多くのワビスケ系の品種がある。
派手さがなく清楚な感じの花は茶花には最適で、千利休も好んで使ったといわれる。2月下旬ころから見ごろ。

②ヤブツバキの園芸品種

ヤブツバキは日本原産の植物で、世界中で観賞されるツバキの交配親になった原種。当校には園芸品種がいくつか植栽されている。上の写真は原種。下は早咲きの大輪一重の品種。原種は下のように平開しない。



3月頃になると数品種が見られる。



③ソシンロウバイ

1月頃から開花。花弁が蠟細工の様で香りがよい。普通のロウバイは芯の部分の褐色。



④マンサクの園芸品種(ハメリス・インターメディア)

日本のマンサクと中国のシナマンサクの交配種群で、花がやや早く、色もバリエーションがある。



⑤カワヅザクラ

早咲きで美しいため近年人気の品種。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種といわれている。2月下旬ころから開花。



⑥シナミザクラ

中国原産のサクラの仲間。花後に実がなり食用にできる。いわゆるサクランボはセイヨウミザクラで、寒冷地向きであるがシナミザクラは暖地でも育つ。開花は2月下旬ころから。



⑦ウメ

古来に中国から渡来した花木。当校の個体は衰弱している。



⑨ローズマリー

這性は早咲き。左は黄色の斑が入る品種で、花とのコントラストが美しい。



⑧フリンジラベンダー

葉に歯のような刻みがあるのが特徴。



⑪サルコツカ

ツゲ科の常緑低木。白い小さな花は香りがする。実も一緒に観賞できる。



⑫ハツユキカズラ

テイカカズラの品種。新芽が淡いピンクで美しい。



⑬ユリオプスデージー

南アフリカ原産の常緑亜低木。



⑭カルーナ・ブルガリス

ツツジ科の常緑小低木。葉色や花色のバリエーションが多くあり、冬期間特に発色が美しい英名はヘザー。暑さに弱い。

【草花・球根類】



⑮ニホンスイセン

日本原産ではなく古い時代に中国から渡来した。地中海原産。



⑯クロッカス

早春の球根植物の代表格。紫、白、黄色などあり。



⑰イオノプシジウム

ポルトガル原産の一年草。こぼれ種で増える。



⑱クリスマスローズ各種



⑲エロディウム
ベラルゴニフロラム

開花期は長く早春から初夏まで咲くが、高温多湿に弱い。



⑳ミヤコザサ

日本固有種。主に太平洋側の山野に多い。冬になると葉の縁が白く枯れて隈どりされるのが美しい。

【冬の花壇を彩る一年草】



㉑ストック各種



㉒スイートアリッサム



㉓ハボタン



㉔ネメシア



㉕キンセンカ各種

